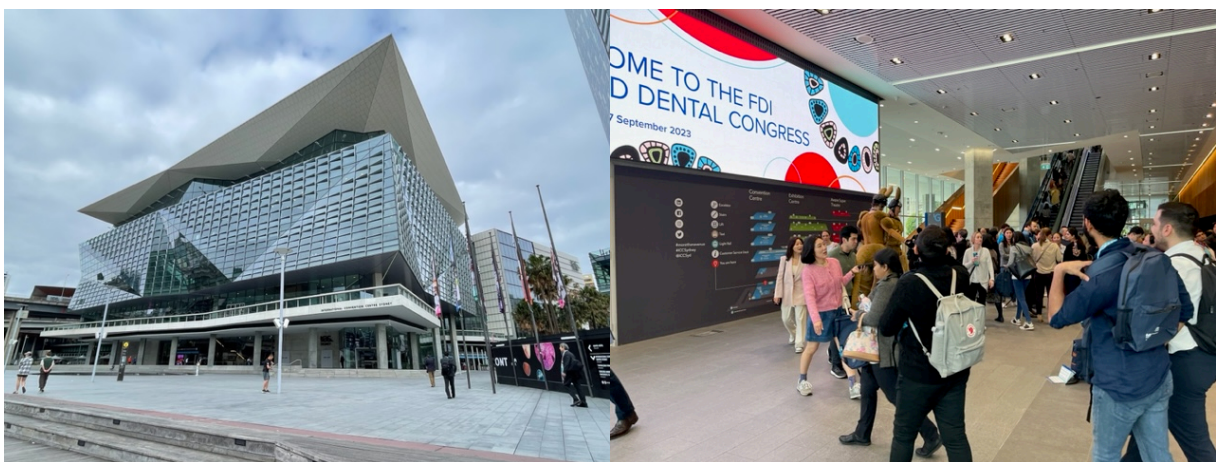


FDI 世界歯科会議@シドニー 訪問レポート

日 時 : 2023年9月24日~9月27日

場 所 : オーストラリア シドニー International Convention Centre Sydney (ICCS)

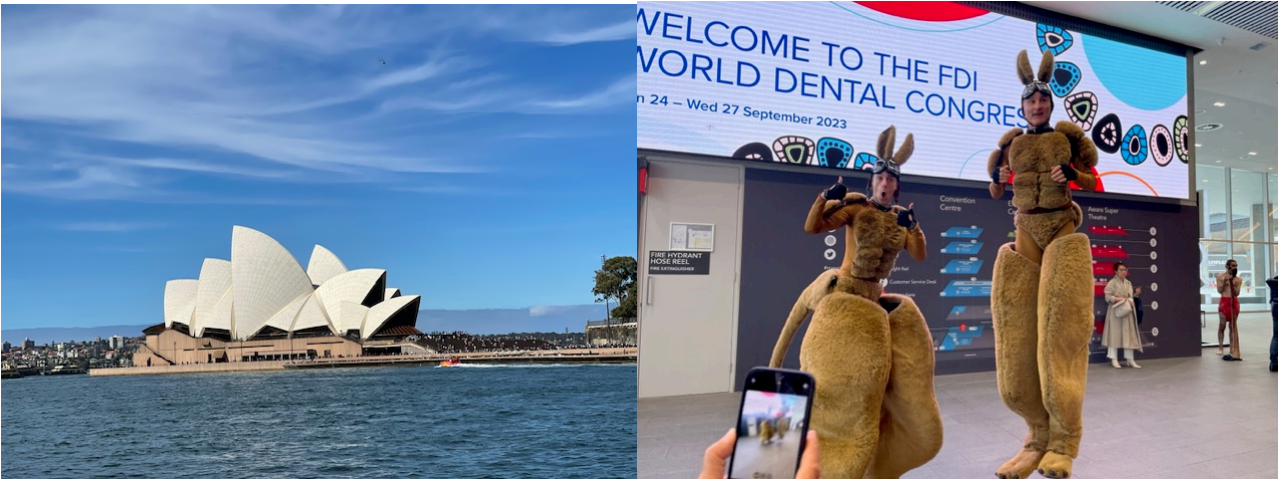
2023年9月24日~9月27日に FDI(国際歯科連盟)の世界歯科会議(World Dental Congress)がオーストラリア・シドニーの ICCS で開催されました。視察出張を行いましたので、下記概要レポートさせていただきます。



FDI は 1900 年設立に設立されたスイス・ジュネーブに本部をおく国際歯科連盟で、日本歯科医師会や日本歯科商工協会、ADA をはじめ世界 200 歯科関連団体が参加し、100 万人以上の歯科医師の代表的な組織として、国際的に健康増進政策や継続的教育プログラム、口腔健康推進活動をサポートしております。

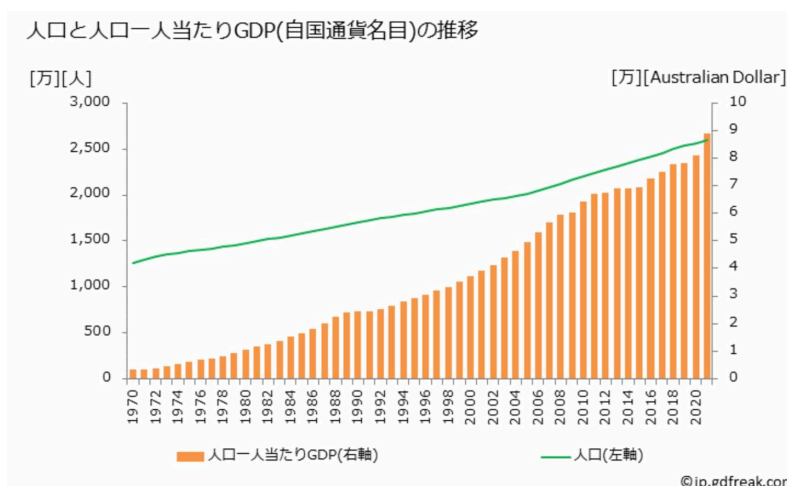
FDI 世界歯科会議は 2019 年サンフランシスコ開催以来、新型コロナ流行のため大規模開催されていませんでしたが、今回はシドニーで 4 年ぶりに展示会場も含めた大型開催となりました(昨年ジュネーブで 3 年ぶりに対面形式の FDI 世界歯科会議を開催(展示会無))。

オーストラリアは 769 万平方 km と日本の約 20 倍もの国土に、人口は約 2,575 万人と日本の約 1/5 の人口と、一人当たり国土面積は日本の約 100 倍と、広大な国土を持った国です。一方、内陸部を中心として国土の約 4 割は砂漠や乾燥した草原で構成され世界で最も乾燥した大陸と言われています。都市は沿岸部に集中しており、その一つでオーストラリア最大の都市がシドニーです。



広大な土地に恵まれたオーストラリアは鉄鉱石、チタン、ボーキサイト、ジルコニウム生産量は世界1位、金は2位、亜鉛は世界3位、コバルトは4位、石炭は世界5位、銅、銅は世界6位、プラチナ、パラジウムは世界7位と、歯科に馴染みが深い金属も含めて、様々な天然資源に恵まれた国です(2021 JOGMEC データ)。

また、オーストラリアの GDP は 17,018 億 USD と世界 12 位(日本は 3 位 42,335 億 USD)で、1人当たり GDP は 65,526USD と世界 10 位(日本は 33,822USD と世界 31 位))と、人口は少ないながらも、1人あたり GDP は日本の約 1.9 倍となっています(2022 IMF)。また、移民も積極的に受け入れる政策で人口増加率は米国やインドより高く、2022 年の国政調査では 2016 年比 8.6%(200 万人)の人口増。1971 年時の国勢調査では 1,200 万人超だったため 50 年で約倍増と人口が増えています。平均年齢も 37 歳と若いため、今後の成長も見込まれる有望国です。



そんな成長を続けるオーストラリアの最大都市シドニーで開催された FDI の様子を下記レポートさせていただきます。

## ① ジャパンナイト



ジャパンナイトは日本歯科医師会が主催、モリタ、松風、ヨシダ、GCと日本を代表する企業が協賛で、世界各国の歯科医師会代表、FDI 役員や関係者を招いて毎年 FDI 開催前夜に行われます。

日本歯科医師会の末瀬常務理事の開会の辞に始まり、高橋会長の主催者の挨拶、ヨシダ、GC、モリタ、松風社長紹介、FDI 会長の Prof.Ihsane Ben Yahya 氏からの来賓挨拶がありました。FDI 会長挨拶では、日本の高齢者に対する歯科医療や 8020 運動に対する取組みについても触れて頂くなど、FDI 会長からも日本歯科会の取組に関心を寄せて頂いていることがわかれると共に、日本から世界各国の歯科関連 VIP の方に様々な情報を発信するよい機会となりました。



また、その後に FDI 公衆衛生委員会副委員長の小川先生から、乾杯の挨拶があり、外国の

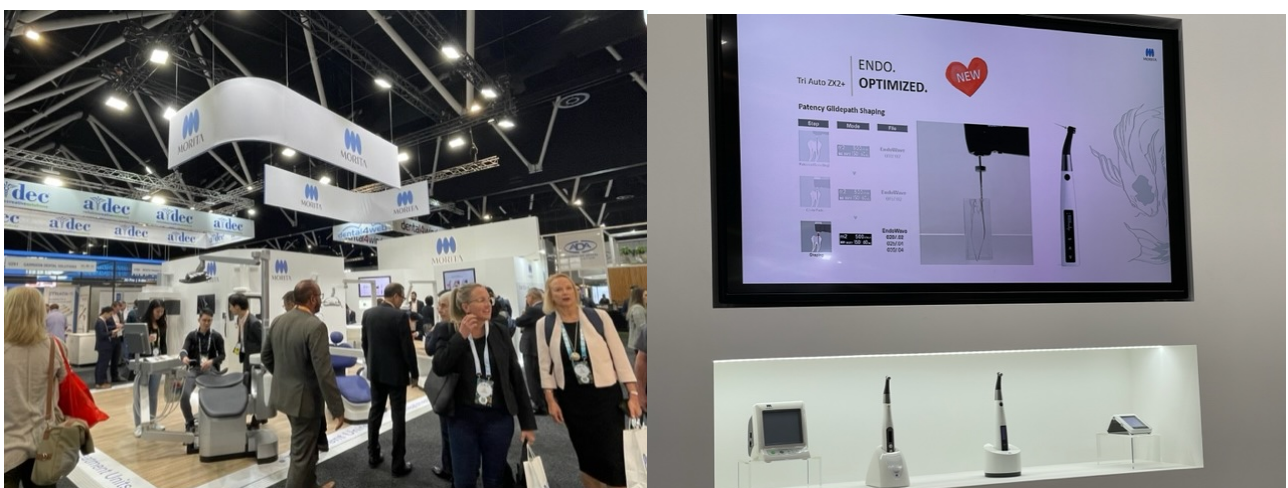
方々に人気なお寿司や、日本や地元の各種食べ物、ビールやワインでおもてなしを行い、多くの方々の良い交流の機会となりました。

FDI 展示会会場では、150 社以上と多くのメーカーが各種製品展示を行っていました。会場内の日本企業ブースから紹介させていただきます。

## ② 展示会 日本企業ブース



多くの企業がある中でも特に大きな展示ブースを構えたナカニシブース。豪州では新型コロナの蔓延したタイミングで、エアロゾルなどを気にしてタービンからマイクロモーターに変えるユーザーも多く、マイクロモーターがよく売れるようになったとのことでした。また衛生環境への意識が高い豪州では注油や滅菌などの器械もよく売れているとのこと。ほか、豪州では、医師がいない遠隔地なども多くあり、飛行機を複数台も保有するフライングドクターサービスの非営利団体が活躍していますが、その飛行機にはナカニシのポータブル歯科ユニット『ビバエース』が搭載されるなど、様々な面で豪州歯科医療に貢献を果たしているナカニシブースの様々な製品を多くの方がご覧になっていました。



日本から世界へ各種機器を発信するモリタブース。モリタは全世界に16社しかないFDIパートナー企業の1社でもあります。モリタ製品の中で特に豪州市場に浸透しているのが、『ルートZX』と『トライオートZX』のモリタが提供する根管拡大に便利なコンビです。特に『トライオートZX2+』が今回のFDIで豪州初お披露目となり、大きな注目を集めていました。同製品を先行販売している欧州では昨年対比「約倍増」の売上げと、新たにレシプロモーションの動きに対応するようになった同製品は豪州でも大きな注目を集めていました。日本では今週末のワールドデンタルショーで初披露目と世界的人気の製品が日本にもすぐに上陸いたします。



同じく、全世界に16社しかないFDIパートナー企業の1社である松風。同社製品で、大きな注目を集めたのは6つのイオンを放出するジャイオマーのS-PRG技術を活かした『ビューティーフィル フロープラスX』や、低重合収縮の『ビューティーフィルII LS』などの各種製品群です。6つのイオンを放出するジャイオマーは後述する今里聡先生の講演会でも大きく紹介されたため、特に現地のドクターからも大きな注目を集めていました。



また、ローランド子会社のDG SHAPE、山八工業など様々な日本企業が出展をしていました。他、プレミアムプラスジャパンは現地ディーラーに大きく紹介してもらうなど、様々な日本メーカーも様々な形で豪州市場に入りこんでいます。

日本メーカーの科学技術やテクノロジーが海外でも好評で多く受け容れられていることは嬉しいですし、今後も、「日本の技術」を武器に、多くの製品を海外に向けて販売して欲しいなと感じる日本企業各社の展示でした。

③ 展示会 海外企業ブース



海外企業ブースでも特に大きな展示ブースで注目を集めていたのはデンツプライシロナブースです。IDSで発表したDS Coreなどで更に使い勝手が向上したセレクトシステムなど、多くの製品群が注目を浴びていました。



そカボや3M、ケアストリーム、アラインテクノロジー、MEDIT、BISCOほか様々な海外メーカーも、移民の流入で人口/市場が拡大している豪州市場への広告活動を展示会場で行っていました。



現地ディーラーもオリジナル製品ほか様々な製品を展示するなど、活気がありました。

## ④ 展示会 予防関連企業ブース



毎回 FDI では、大きな展示ブースを構えて展示することが多い予防関連企業ブース。街中のドラッグストアでも、歯磨粉の棚にはズラリとコルゲート/Oral-B が並ぶなど、豪州市場で強いメーカーが大きな注目を集めていました。またドラッグストアでは、隣国ニュージーランドオリジナルのプロポリス入り歯磨粉や、ティーツリー歯磨粉など、少し変わった歯磨粉も販売されており、私は珍しいプロポリス入り歯磨粉を購入してみました。人口香料不使用ながらマヌカハニーのような味わいで、気持ちの良い歯磨粉でした。



また、POP な展示で注目を集めたのはクラプロックスの歯磨粉『BE YOU』です。歯磨きを「やらないといけない」という義務感ではなく、「歯磨きを楽しむ」をコンセプトに作られた同製品。様々な美味しい香味で、「歯ブラシ時間が楽しくなるな」と実感できました。本歯磨剤に含まれるグルコースオキシターゼ(天然ハチミツにも含まれる成分)は糖を分解し、微弱な「H2O2」を放出するので、ホワイトニング効果も期待できそうです。他にもフッ素 950ppm、 hidroキシアパタイト、キシリトール、プロビタミン B5、ビターオレンジなど配合し、日本上陸がないか楽しみな製品に注目が集まっていました。

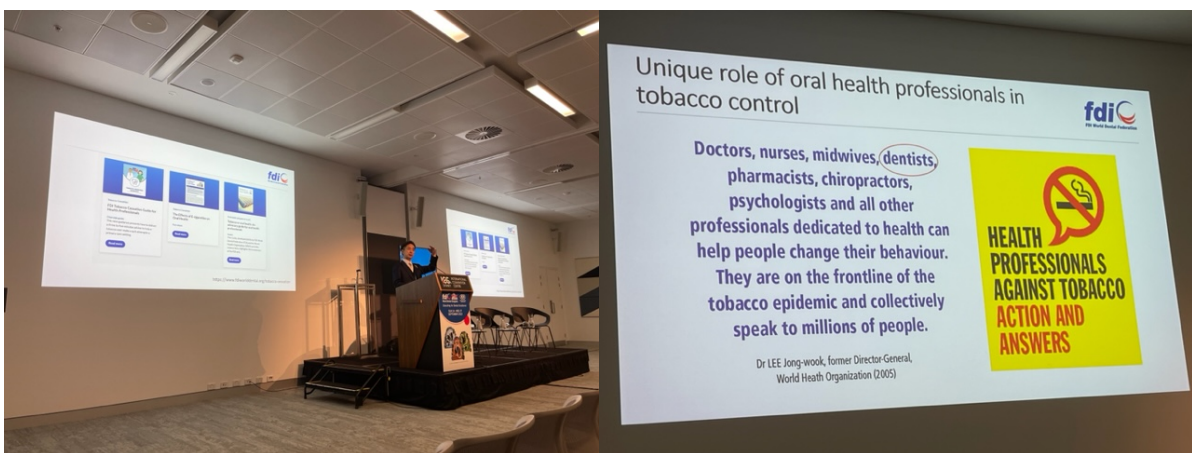
200 を超える様々な講演会が開催されていましたが、気になる講演を聴講してまいりました。

⑤ 講演会 『Capacity Building on Tobacco Cessation for dental teams』  
(歯科チームのための禁煙支援能力開発)



新型コロナウイルス感染症が世界を大きく震撼させましたが、実は各種の感染症による死亡の割合より、死亡割合が高い問題の『NCDs』はご存知でしょうか？

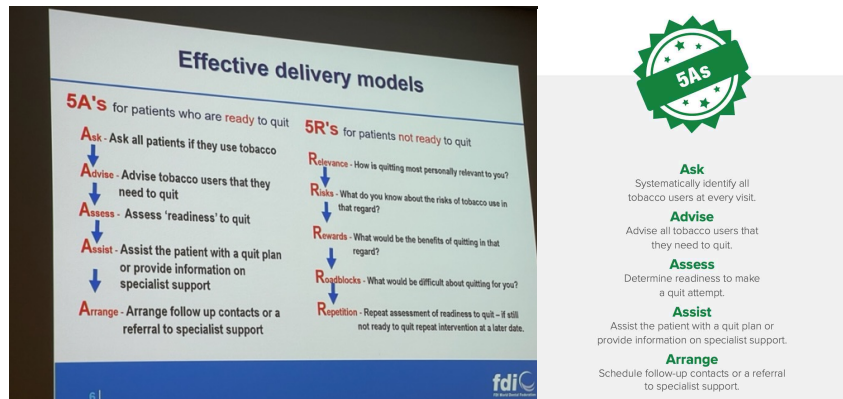
NCDs とは Non-Communicable Diseases(非感染性疾患)の略で、NCDs はがん・糖尿病・循環器疾患・慢性呼吸器疾患が含まれ、全世界死因の約 70%をも占めると言われております。喫煙や過度の飲酒、不健康な食事や運動不足などの原因が共通しており『生活習慣の改善』により予防可能な疾患です。



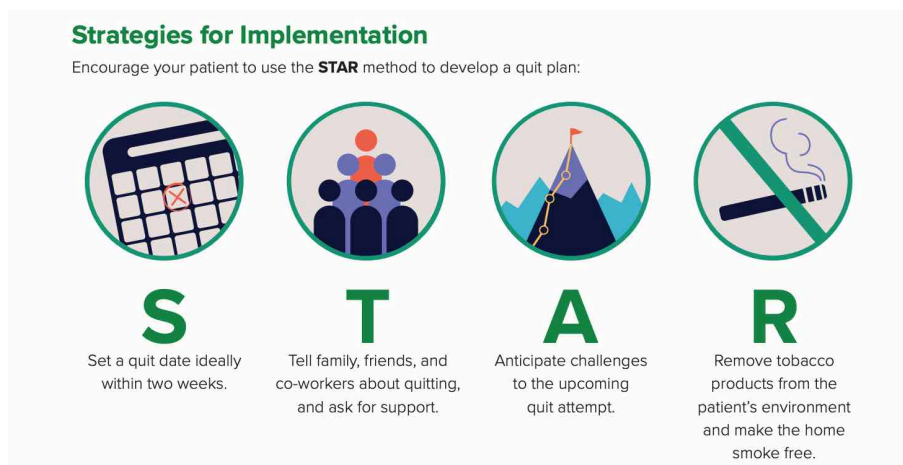
その中でも、健康への悪影響が明確な喫煙を、歯科チームによる 3-5 分程度の短い声掛けなどで禁煙へ導くことのできる「禁煙支援能力」開発を行い、その方法や成果について発表がありました。本プロジェクトは、FDI だけではなく、WHO も大きな関心を寄せ、WHO の Dr.Dongbo Fu 氏もプロジェクトメンバーとして大きな役割を果たしています。



本プロジェクトの主要メンバーでもある小川祐司先生からプロジェクト概要に関する説明があった後、WHOのDr.Dongbo Fu氏からは、喫煙者の患者さんが禁煙できるようにする5Asと5Rsという2つのステップについて詳細な説明がありました。

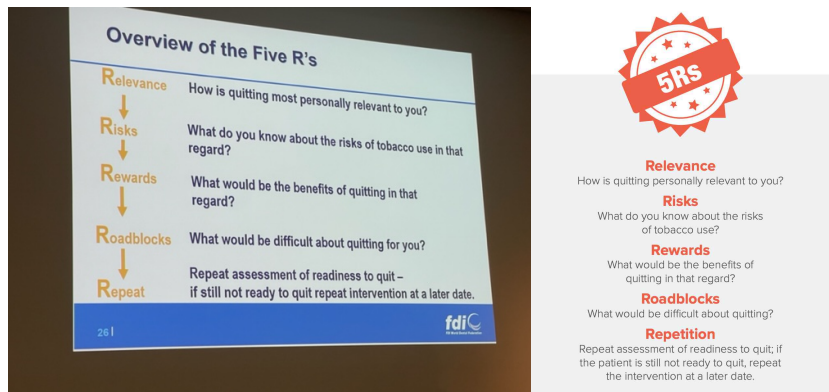


まずは5Asの「ASK」で全ての患者に喫煙有無を質問します。次に「Advise」で禁煙の必要性を助言します。女性ならば不妊/口臭/唇の黒ずみ、歯周病の方なら歯周病、子供と暮らす大人ならば受動喫煙による虫歯罹患率など、個人に合わせた助言ができます。その次は「禁煙は重要だと思いますか？禁煙できる自信はありますか？」と2つの質問で「Assess(評価)」をします。答えが「はい」ならば「Assist(支援)」「Arrange(調整)」と次のステップへ続きます。



「Assist(支援)」では、STAR法を利用して喫煙者が禁煙計画を作成するのを支援します。S禁煙日設定、T家族/友人/同僚に禁煙することを伝え協力を求める、A禁煙を試みた際に発生する問題を予測する、R喫煙者の周囲からタバコ製品を取り除きタバコのない環境を整える。歯科治療中のタイミングで、禁煙の経過について話をしたり、喫煙者の禁煙をはげましたり、思いやり（共感）と心配を、肯定的に笑顔で行うことが大切です。また、「Arrange(調整)」では禁煙開始の翌週に1回目、1ヶ月後程度に2回目の状況確認を面談/e-mail/電話など各種手法で行い、禁煙継続中患者には褒めて継続を促したり、中断患者には周囲の環境を確認し再チャレンジを促したりします。

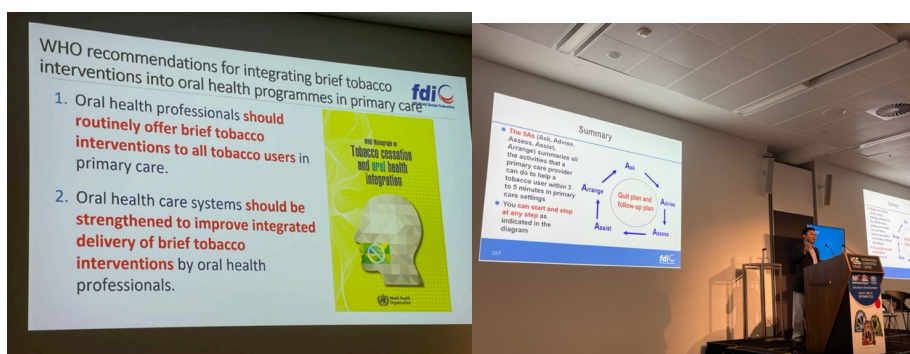
「禁煙は重要だと思いますか？禁煙できる自信はありますか？」という質問に NO だった禁煙開始への準備ができていない方に禁煙意欲を高めるカウンセリングが 5Rs です。



まずは、「禁煙することが重要だと思いますか？」といった「Relevance(関連)」から入り、禁煙について積極的でない喫煙者には「Risk(リスク)」と「Reward (褒美)」に焦点を当てて時間を使う必要があります。

短期リスクには「ぜんそく、呼吸器感染リスク増加、妊娠異常・不妊リスク増加」など、長期リスクには「歯周病、歯喪失、口腔がん、心臓発作と脳卒中、肺がん、骨粗鬆症」など様々なリスクがありますが、「喫煙のリスクについてなにか知っていることはありますか？」という質問から、特に気になっているリスクをフォーカスすることも有効です。

「Reward (褒美)」は、禁煙がもたらす恩恵としては、「歯科治療効果改善、味覚向上、お金の節約、家・車・衣服・自身の呼気もタバコ臭くなくなる（より良い匂いになれる）」、子供の受動喫煙暴露や喫煙のリスクを低下させる、身体が楽になる」など様々なものがありますが、喫煙が自身にもたらす恩恵について認識しやすいようにする必要があります。



また、禁煙したいと思っているけど、自分が禁煙できるとしていない場合は、喫煙者に禁煙に対する「Road Blocks(障壁)」を認識し、対処する相談を行います。「貴方にとって禁煙に対する障壁はなにですか？」と質問し対処法を相談する必要があります。

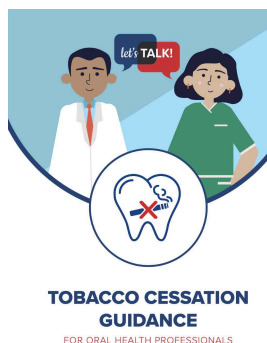
例えば、「タバコを吸いたい欲求が抑えられない」のであれば、喫煙欲を減らすニコチン置換療法(NRT)などを勧めることもできます。そして、重要なのはこれらの 5As と 5Rs を

Repetition(反復)することです。禁煙には難しさがつきものですが、きっと乗り越えられます。私がサポートします。と繰り返すことが重要です。

歯科医師・歯科衛生士は、多くの喫煙者に接する機会を持ち、禁煙介入の大きな可能性を秘めています。 歯科診療や歯科健診の際に、歯科医師・歯科衛生士が口腔内診査に 2-3 分と短時間の禁煙支援を加えることで、半年もしくはそれ以降において喫煙者の禁煙率 70% 増加できたとの報告もあります。 歯科医院から地域の人々の健康に「+α」で禁煙指導も始めてみては如何でしょうか？

FDI 禁煙支援プログラム

(特設ページ QR↓)



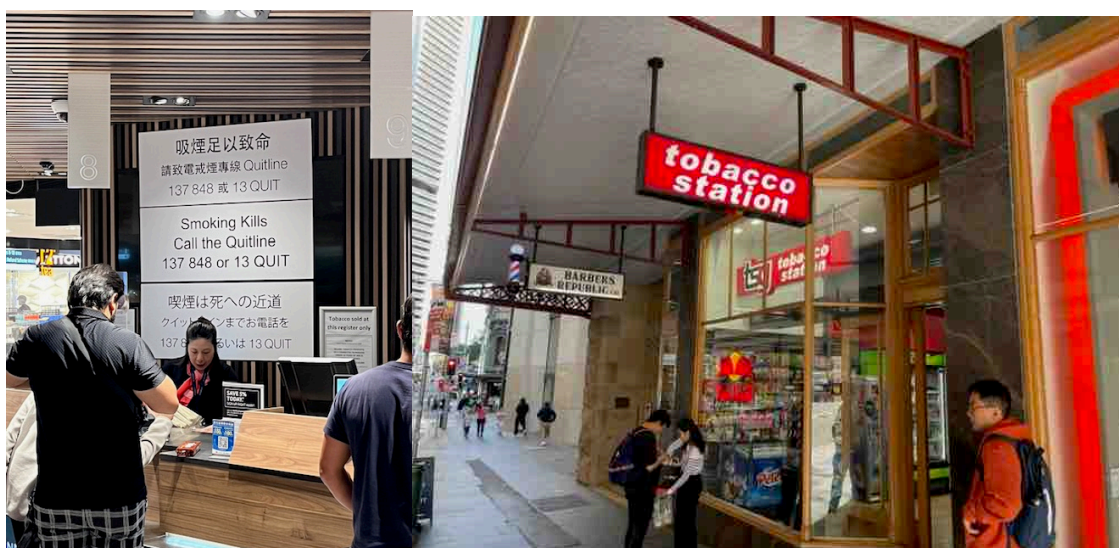
禁煙支援ガイドブック

(日本語版 QR↓)



FDI では歯科医師/歯科衛生士のための喫煙支援特設 HP や 7ヶ国語での禁煙支援ガイダンスも公開しており、とても勉強になります。本レポートをみて気になった方はぜひ、ご覧になってみてください。

FDI は WHO のような世界的に重要な組織に向け「歯科の必要性/効用」をアピールしながら、歯科の位置付けを高めていくのに重要な役割を担いますし、このような取り組みに向けてのダイナミックな会合に参加できるのも FDI 世界会議の楽しみの一つです。



なお、豪州ではタバコは 25 本入で 40 豪ドル (約 4,000 円) と高くなっており、またタバコ屋さんでもタバコは「Smoking Kills (喫煙は死への近道)」記載されたケースの中に入り、国としても禁煙を推進している取り組みがみられ、併せて勉強になりました。

## ⑥ 講演会 Bio-active restorative materials –what are they and their clinical benefits?

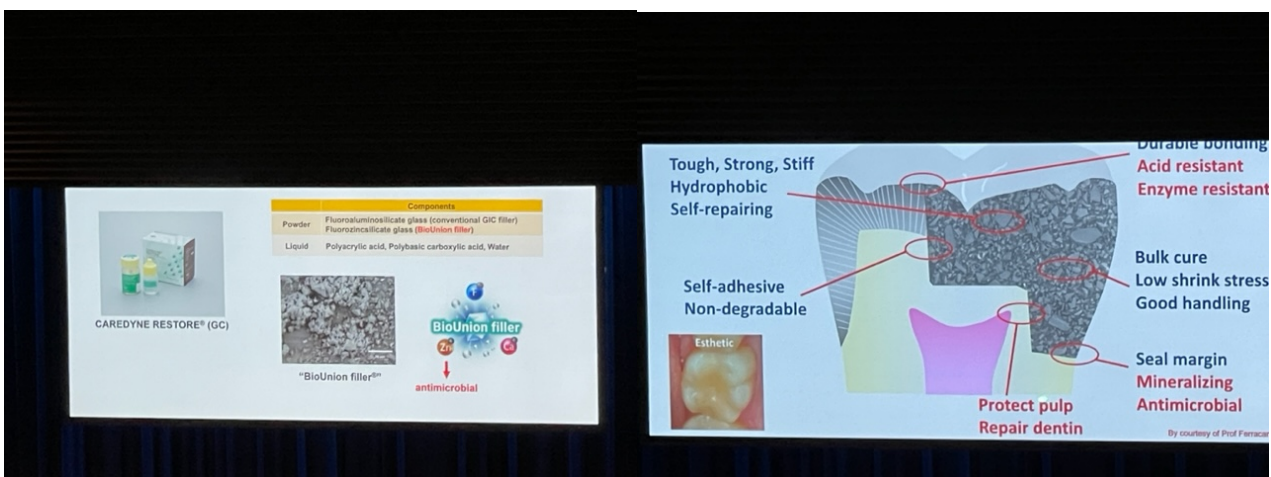
(バイオアクティブ修復材料 ～それらは何？ 歯科医院での利益は？～)



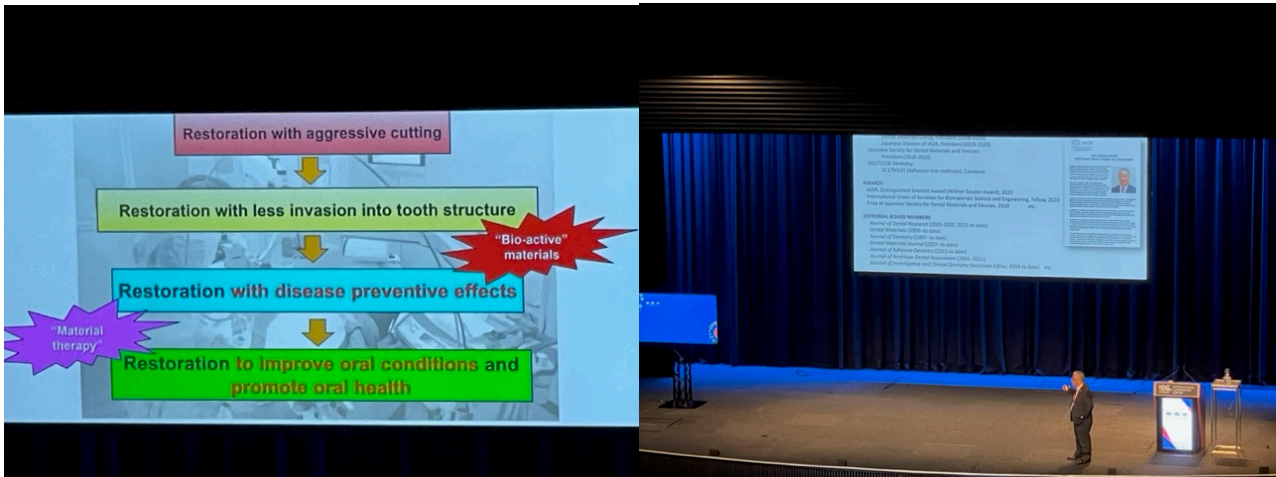
AM8:00 と朝一番の講演ながら、大型シアターのような会場がほぼ満席となった講演は、大阪大学大学院歯学研究科の歯科生体材料学講座教授の今里聡先生によるバイオアクティブ修復材料に関する講演です。世界的に注目度が高いバイオアクティブ材料。

講演の中でも特に注目を集めたのは、松風のS-PRGフィラーを活用したGiomer技術です。フッ化物はもちろん、ストロンチウム、ホウ酸、ケイ酸、アルミニウム、ナトリウムからなるマルチイオンがリリースされます。また、外部周囲の環境（イオン濃度勾配）に応じて可逆的にイオンのリリースとリチャージが起こります。

6つのマルチイオンのリリース&リチャージにより「歯質強化」「抗プラーク性」「酸中和能」と3つのバイオアクティブな特徴があり、松風の様々な製品に使われているコア技術Giomerに大きな注目が集まりました。



また、GCの『ケアダイレストア』は、日本のみの販売で、残念ながら日本以外は未発売ですが、との前置きで、フッ化物イオンのみならず、亜鉛イオン、カルシウムイオンの放出もある注目のイオン放出型充填材料との紹介もありました。



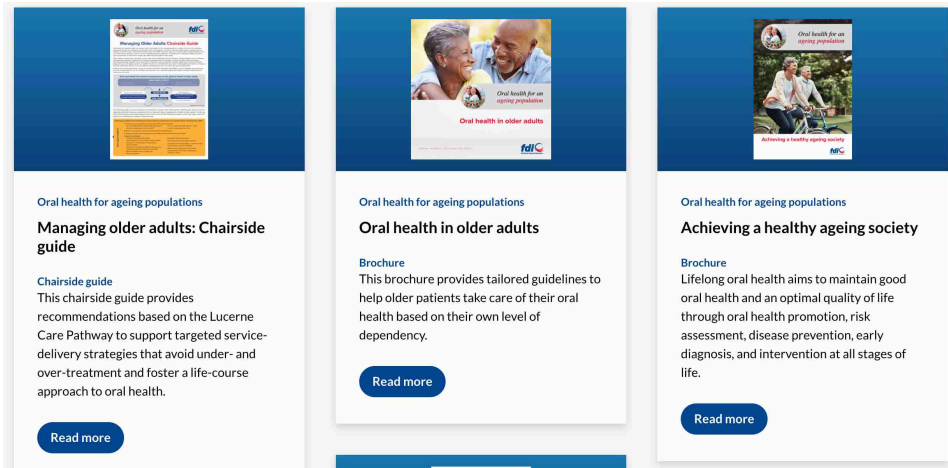
欠損を補うだけでなく、歯質を強化、二次カリエスを抑制、プラークの付着を予防するなど様々なメリットをもたらすバイオアクティブ修復材料。

時代は、積極的に切削する修復→低侵襲の修復→予防効果のある修復→口腔環境を向上する修復と、バイオアクティブ材料やミネラルセラピーにより、材料効能を活かした診療は進化しています。


今里先生が発表するバイオアクティブ材料には、世界から大きな注目が注がれましたが、世界が注目するバイオアクティブ材料も身近な Made in Japan で多く存在するので、今一度バイオアクティブ材料について勉強して、診療に活かしてみても如何でしょうか？

また、今里先生は、現在 International Association for Dental Research (国際歯科研究学会、以下 IADR) の副会長(2024 年には会長となる予定)ですが、IADR の活動についてのお話も最後にありました。

IADR は世界に 10,000 人以上もの会員を要する国際的・学際的な歯科系学会で、世界的に権威のある研究者や臨床家が集まっています。IADR の推進する更なる研究や情報発信にも期待が高まります。



OHAP 詳細  
はコチラ QR↓



その他にも、『Oral health for an ageing population (高齢社会に対する口腔健康、以下 OHAP)』は GC が FDI のパートナー企業として、FDI と共同して研究/プロモーションしていますが、前回 2019 年のサンフランシスコ ADA FDI でそれまで 5 年間の取組も反映し、「治療不足」や「過剰治療」を防ぐためのチェアサイドガイドブックを発表していました。

2015 年から 2019 年の 5 年間はシーズン 1 として高齢歯科の状況把握、認知度の向上、ガイドラインの作成実施。シーズン 2 は 2020 年から 2024 年の 5 年ですが、作成されたガイドラインのブラッシュアップ（口腔機能低下症などを盛り込んだもの）と各国歯科医師会との整合、アプリケーションの作成といったことを進めています。継続的に世界の歯科医療に貢献する FDI と GC の取組も、今回は『OHAP: people-centered and function-focused approach（高齢社会に対する歯科医療：人物中心で機能にフォーカスしたアプローチ）』という副題付で講演がなされていました。

OHAP は FDI を、GC と NAKAO Foundation for World Wide Oral Health(中尾世界口腔保健財団\*) がサポートしていますが、上記 QR コードのリンク先に、研究内容がまとめられているので宜しければご覧ください。

NAKAO Foundation for World Wide Oral Health(中尾世界口腔保健財団) は、GC 最高顧問の中尾真氏が、世界の歯科界に更なる貢献をするべく、自身の財産を寄贈しスイスに設立した財団ですが、MI の推進、Function（機能性の重視）、8020 達成者の更なる向上、オーラルフレイルへの対応、地球市民の Oral Health の向上を課題とし、学術研究の促進や、新しい療法の臨床研究の促進及び新事実に関する啓発活動を活動目的として運営されています。

日本歯科界から世界歯科界への貢献する様々な取組も大きな注目を集めていました。

## ⑦ シドニー環境推進地区 グリーン・スクエア



環境や SDGs に対する意識が高い豪州で、環境推進地区として再開発されている「グリーン・スクエア」も訪問してまいりました。

シドニービジネス中心街の近くに、2030年までに6万人規模の住宅、オフィス、公園、図書館などができ、豪州最大の雨水活用施設や太陽光発電、ライトレール(軽量軌道交通)や自転車専用道を備えた「環境先進地区」を目指して建設中の地区です。

スクエア内には自然を満喫できる公園が40箇所以上に上り、園内地表や公共施設屋根からの雨水を、豪州最大の雨水活用施設で濾過消毒後、貯蔵再利用する仕組みです。また、再生水は家庭でのトイレ・洗濯・園芸などに使われ、使用もせず海に流れ込む年間90万リットルの雨水を無駄にせず有効利用するという設計で、大きな注目が集まっています。



ほか、スクエア内の全ての公共施設には太陽光パネルが設置されており、各建物間にはミニグリッド送電網が構築され、余剰電力を他建物で利用もできます。また、リサイクルセンターでの蓄電池により、スクエア内で余剰の電力は他地区に供給される仕組みも整っています。



また、建物建築方法にも工夫がみられます。例えば上写真の図書館は地下に設置され、夏は涼しく、冬は熱を逃さず、また、館内には中庭や天窗をしつらえ、極力自然光を取り入れるなど、環境に優しく、サステイナブルで、かつ、気持ちいい空間づくりができています。



もともと 1940 年代頃から豪州最大の工業地区だった東京ドーム約 60 個分の大規模な同地域ですが、政府が再開発を決定した後は、工場に移転等をしてもらい、再開発を実行しています。

多民族国家の豪州は、「多様性」を重視する一方、多くの民族が共存するためにも「ルール」をしっかりと作り、ルールを遵守する文化があります。コロナ禍のピーク時には、公共交通機関ではマスクを付けなければ罰金というルールもあり、守られていたそうですが、現在はそのルールもなくなり、街では基本マスクを外した方で溢れています。

また、選挙も投票しなければ罰金というルールがあり、投票率は毎年 90%前後と、非常に高いとのこと（実際に、観光ガイドの息子さんが海外にいて投票できなかつたら 55 豪ドルの罰金が課せられたとのことでした）。日本では政治への無関心/諦めのような空気が感じられるような投票率ですが、政治を「自分ごと」として関心をもってもらうためにも豪州のようなルールは面白いなと感じました。



## ⑧ FDI での各国都市訪問



今回、豪州シドニーは初訪問でしたが、夏冬が南半球で逆転しているだけではなく、日本のような高い湿度でのジメジメ感はなく、カラッとした気持ちいい天候で、現地の方々も優しい雰囲気の方が多く、治安も比較的安全で、ゆったりとした時間の流れる素晴らしい国/街でした。また、オージービーフの美味しい牛肉や、様々なシーフード、美味しい野菜にも恵まれる広大な土地を要した国でもあります。

移民流入などにより人口が増え、平均年齢層も若いというのも納得の街/国で、経済も活性的な状況がよくわかり、自分自身も住んでみたいと思えるような街でした。

今回のシドニーFDI 世界大会では、展示会場や講演会はもちろんのことですが、シドニー・豪州の街や取組からも大きな刺激を得た充実した5日間でした。FDI は毎年違う都市で開催され、その国や都市毎に違う色々な事柄から様々な刺激を受けることができるのみ魅力の一つです。

FDI は、日本歯科医師会や日本歯科商工協会をはじめ世界の 200 もの歯科関連団体がメンバーを構成し、歯科界を代表して WHO などへも情報提供を行い、WHO から発信される情報は各国の厚労省のような政府機関にも広く知れ渡ります。そのような大きな舞台に参加することで、歯科の大きな潮流を知ることができます。



次回の FDI 世界大会は、2024 年 9 月 12 日～15 日に、東洋と西洋が交わる街トルコ・イスタンブールで開催されます。世界各地で開催される FDI は、その活動のダイナミズムに触れることができる他、世界各国の文化や食などに触れるチャンスでもあるので、一度足を運んでみられては如何でしょうか。

私共、歯科ディーラーにとって第一の努めは、歯科医療従事者の皆様へ『よい情報、よい製品』をいち早く正確にお届けし、『歯科医療従事者の皆様へのお役立ち』をすることだと考えております。そして、歯科医療従事者の皆様へのお役立ちを通じて、皆様の笑顔や健康に少しでも寄与できたら良いと考えております。

『人々の笑顔、健康に寄与することを目指して！』今後とも歯科医療従事者へのお役立ちを第一に、様々な情報発信に努めて参りますので、引き続きご愛顧のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

以 上

(取材・編集)株式会社シラネ  
代表取締役 榎原利一郎